

支部活動のあゆみ

● 東日本支部

東日本支部では、1991年から2010年春まで、次のような活動を行ってまいりました。以下に、開催年月日、活動の名称、会場、講演者・研究発表者の氏名（敬称略）、タイトルを記しております。

活動の名称につきましては、2001年以降、「談話会」から「例会」に変更になりました。

また、それぞれの会において、支部会や懇親会等、会員間の情報交換と親睦のための会も開かれておりましたが、ここでは省略いたしました。

東日本支部談話会

- | | |
|--|---|
| <p>■ 1991年6月22日</p> <p>テーマ：「アーリー・ワン・モーニングー子供時代につちかわれたもの」</p> <p style="padding-left: 2em;">「<i>Early one Morning</i>（デ・ラ・メア著）について」</p> <p style="padding-left: 2em;">「ミヒヤエル・エンデの場合」</p> <p style="padding-left: 2em;">「植民地と作家たち（ルーマー・ゴッデン他）」</p> <p>紙面の都合上、各年度の講演要旨をお伝えできないのは残念であるが、各年度に発行された「ティンカー・ベル」、会報を参照されたい。</p> | <p>於 日本児童文学専門学院</p> <p>田中 瑞枝</p> <p>埼玉大学教授 安達 忠夫</p> <p>きどのりこ</p> <p>（伊達安子・記）</p> |
|--|---|
- | | |
|---|---|
| <p>■ 1991年6月22日</p> <p>講演：「<i>Early One Morning in the Spring</i>（M. デ・ラ・メア著）について」</p> <p style="padding-left: 2em;">「ミヒヤエル・エンデの場合」</p> | <p>於 日本児童文化専門学院</p> <p>田中 瑞枝</p> <p>安達 忠夫</p> |
|---|---|
- | | |
|---|--|
| <p>■ 1992年6月20日</p> <p>「トールキンはいま」発題要旨</p> <p>「<i>The Lord of the Rings</i> における善と悪」</p> <p>「トールキンと現代」</p> | <p>於 日本児童文化専門学院</p> <p>中野 節子</p> <p>宮崎 敬子</p> <p>谷本 誠剛</p> |
|---|--|

- 1993年6月19日 於 明海大学
研究発表：「『連続』から『挿話』へ——児童文学の物語叙法について——」
谷本 誠剛
「マザー・グースの物語詩」 鶴見 良次
「“Good Form”を求めて——ピーター・パンの戯曲と小説——」
小野俊太郎
「タイムファンタジーの物語効果」 菱田 信彦
- 1994年6月11日 於 明海大学
講演：「ポターのミニ・レターについて」 吉田 新一
- 1995年6月24日 於 明海大学
講演：「グレイ・ラビットのふるさと——A・アトリーのダービシャー」 中野 節子
- 1996年6月15日 於 青山学院大学
研究発表：「シルヴィア・ウォーの *The Mennymys* ——〈生きた〉人形一家の虚構世界」
笹田 裕子
「ド・モーガンのフェアリーテール」 斉藤 美加
- 1996年12月14日 於 青山学院大学
研究発表：「“The Alphabet”の唄の系譜」 夏目 康子
「『トムは真夜中の庭で』における庭の考察」 安藤 聡
講演：「自然と冒険とユートピア—デフォーからランサムまで」 神宮 輝夫
- 1997年6月14日 於 青山学院大学
研究発表：「薄明に見る夢——ラフカディオ・ハーンの『雪女』において」
光畑 隆行
「アン・ファインの語りの構造」 本間 裕子
講演：「最近のアメリカ児童文学——エスニック作家を中心に」
法政大学助教授 金原 瑞人
- 1997年10月18日 於 青山学院大学
研究発表：「チャールズ・ラムの『夢の子供たち』をめぐって」 鍵山真由美
「ヒロインたちの「成長と限界」
——ルイス・キャロルとJ・M・バリの比較研究」 山路 千佳
「絵本の翻訳をめぐって：『あおくとときいろちゃん』考」 高鷲 志子

- 1999年6月5日 於 青山学院大学
 研究発表：「歴史小説再考：ローズマリ・サトクリフを中心に」 渡辺 佳子
 「児童文学における恐怖：アラン・ガーナーの場合」 坂井めぐ美
 「Roald Dahl の児童文学作品におけるカーニバル性」 笹田 裕子
 講演：「児童文学とパントマイム — 『アリス』を中心に」 谷本 誠剛
- 1999年12月11日 於 青山学院大学
 研究発表：「家族社会学の視座から見た若草物語」 川西 加恵
 「キョウコ・モリの『シズコズ ドーター』
 — 日系アメリカ女流作家の視点から見た日本近代家族の家父長制の「家」」
 飯田 深雪
- 海外の学会・セミナー参加報告
1. Homerton's Fifth Conference on Children and Literature
 (英, ケンブリッジ, ホマトン・カレッジ) 鈴木貴志子・田中美保子
 2. Children's Literature New England 1999 (米, ラドクリフ) 白井 澄子
 3. 第1回 IFLA Post Conference (タイ) 依田 和子
 4. Children's Literature Association & IRSCL Joint Conference (加, カルガリ)
 渡辺 佳子
- 2000年6月10日 於 青山学院大学
 研究発表：「Hary の求めた 'Kingdom' とは何だったか」
 — Robert Westall, *The Kingdom by the Sea* における 'Kingdom' の意味」
 谷口 天祥
 「Ghost Horse Cycle (by Jamake Highwater) 再読」 鈴木 宏枝
 講演：「映画化の7つの型 — 『小公子』の場合」 川端 有子

東日本支部例会

- 2001年5月12日 於 青山学院大学
 研究発表：「Satoshi Kitamura 論」 沼賀美奈子
 「Philip Pullman : *His Dark Materials* シリーズについて」 南部 英子
 講演：「シリーズ物の魅力 — ノートン、ボストン～ローリングなどのファンタジー
 を中心に」
 ケンブリッジ大学ホマトンカレッジ英語英文学科 元主任教授 Victor Watson
 通訳：田中美保子

- 2001年12月22日 於 青山学院大学
 研究発表：「現代アメリカ児童文学における物語構造」 横田 順子
 「Louis Sachar：*Holes*を読む」 斉藤 美加
 講演：「現代絵本の源流をヴィクトリア時代の絵本に求めて」
絵本研究家 正置 友子
- 2002年6月8日 於 フェリス女学院大学
 研究発表：「*Skellig*に見られるウィリアム・ブレイクの「ヴィジョン」」 内藤 貴子
 「David Wiesner 研究」 神谷 友
 講演：「ライフ・イーザウの宇宙創生」 和光大学表現文化学科教授 酒寄 進一
- 2003年7月5日 於 フェリス女学院大学
 研究発表：「サトクリフの新しい読み—『ケルトの白馬』を中心に—」 灰島 かり
 「イギリス階級社会とハリー・ポッター」 菱田 信彦
 講演：「ドラゴンと魔法」 SF&ファンタジー評論家 小谷 真理
- 2004年5月8日 於 フェリス女学院大学
 研究発表：「Virginia. L. Burton の *The Little House* について」 竹内 美紀
 「ユーモアの作り方 — *Winnie-the-Pooh* と *The House at Pooh Corner*」
佐々木裕里子
 講演：「マーガレット・マーヒーの作品における家族」 青木由紀子
- 2005年6月11日 於 青山学院大学
 研究発表：「『指輪物語』における「モータリティ」について」 稲田 譲
 「サトクリフの『アーサー王物語』」 本間 裕子
 講演：「アーサー王伝説の語りとバラッドの演唱」
イギリスの吟遊詩人 ニック・ヘネシー
 解説と、日本語による語り：桜井美紀（語り手たちの会）
- 2005年10月15日 於 大妻女子大学
 研究発表：「児童文学におけるメタフィクションの位置づけ」 三木 香里
 「もうひとつの世界の開かれ方—〈ナルニア国ものがたり〉シリーズと
 〈ライラの冒険〉シリーズ」 高橋 尚子
 講演：「アリスが中国語を話すとき—『不思議の国のアリス』初の中国語訳者、
 趙元任について」 千葉商科大学教授 石毛 雅章
- 2006年5月13日 於 東京女子大学
 研究発表：「お伽噺批評と書かれた声」 芦田川祐子
 「日本におけるアーサー・ランサム作品の受容」 佐々木江利子
 講演：「歴史研究から見たイギリス児童文学」 日本女子大学准教授 佐藤 和哉

- 2007年6月2日 於 津田塾大学
 研究発表：「ウィリアム・メインにおける描写の特徴」 宮本 和茂
 「Ouida と生体解剖反対運動」 三神 和子
 講演：「イギリス児童文学における面白さの構築」 神宮 輝夫
 - 2007年10月13日 於 清泉女子大学
 研究発表：「Comprehension から Appreciation へとつなぐ橋をかけるための
 児童文学～ *Harry Potter* コーパスに基づく語彙分析を題材として」 長沼 君主
 「動物物語の現代的意義と可能性」 高田 賢一
 講演：「『ゲド戦記』を読む—ファンタジーと心の真実—」
武蔵大学名誉教授 私市 保彦
 - 2008年5月17日 於 清泉女子大学
 研究発表：「『ごっこ』を超えて—*Mennynms* シリーズに見る人形家族のあり方」 金子真奈美
 「ティモシイのだいじなコート
 —アーサー・ランサム作品における階級表象」 菱田 信彦
 講演：「生命誕生のイメージ」 文教大学教授 中川 素子
 - 2009年5月16日 於 青山学院大学
 研究発表：「Talking Beasts のジレンマ—〈ナルニア国ものがたり〉について」 菱田 信彦
 講演：「イギリス児童文学における面白さの構築その2—ブロンテ姉妹とディケンズ
 の時代」 神宮 輝夫
 - 2009年10月24日 於 川村学園女子大学
 研究発表：「幼年文学の翻訳文体を考える—石井桃子訳のアリソン・アトリー作品
 を中心に—」 竹内 美紀
 「『シンデレラ』のチャップブック—その変遷と変容」 木村 利夫
 講演：「なぜアンは日本で愛され続けてきたか」
赤毛のアン記念館・村岡花子文庫主宰 村岡 恵理
 - 2010年5月15日 於 東京女子大学
 研究発表：「英語教材としての絵本の選択方法を考察する
 —「ページターナー」の機能を持つ絵本について—」 永井 雅子
 講演：「幸福に驚く力」 青山学院女子短期大学名誉教授 清水真砂子
- (記・笹田 裕子)